



横浜みどりアップ計画 地域緑のまちづくり事業

R E P O R T

●地区名 武蔵中山台地区

●団体名 武蔵中山台花と緑を愛する会

●計画名 緑いっぱい花いっぱい
笑顔はじけるまちづくり



◎所在地：緑区三保町

◎取組期間 3 年

◎協定締結期間

平成 29 ~ 令和 元 年度

横浜みどりアップ計画とは

緑の減少に歯止めをかけ、「緑豊かなまち横浜」を次世代に継承するため、「横浜みどり税」を一部財源として活用しながら、「横浜みどりアップ計画」を進めています。

詳細は...

地域緑のまちづくり事業とは

地域が主体となり、住宅地や商店街、オフィス街、工場地帯など様々な街で、地域にふさわしい緑を創出する計画をつくり、市民との協働により緑化を進めるものです。

詳細は...



地区の範囲図及び緑化実施場所

団体・地区の概要

武蔵中山台地区は450区画ほどの一戸建て住宅地で、6割はこの住宅地が開発分譲された1980年代当時から住んでいる住民で高齢化、単身世帯化が進み、緑豊かではあるが維持の困難さが増しています。当住宅地の2割程度の2010年代に再開発された建売住宅には若い子育て世代が住んでおり、駐車スペースが優先し、緑化はあまり進んでいません。

新旧の街並みの様相、緑化にはばらつきがあり、住民同士の交流も少ないことから、皆がここで長く生活したいと思う、一体感あるまちづくりを目指すためには、環境を整える必要があり、地域緑のまちづくり事業に取り組むこととしました。

取組(計画)の概要

緑を増やすことにより、まちの雰囲気の一貫性を保ち、まちの魅力アップと住民の交流を図り、意識の共有に努めます。再開発された住宅を中心に植樹を提案します。特に擁壁下、駐車場空きスペースなどコンクリート面が目立つ箇所に、工夫して緑化します。希望する家庭に仕様を統一したプランター、鉢、ハンギングバスケット等を配布します。大上第一、第二公園への花壇の設置、植栽の追加(アジサイなど)、遊歩道植栽改善への取り組み、バス停付近の植栽、手作りプランターベンチ(腰掛機能付き緑化)等の工夫を行います。地域では花の育成、植栽の研修会や品評会などを実施し、管理方法など共通の話題として、情報交換を繰り返すことで、世代を超えた住民同士のコミュニケーションの輪を広げていきます。



ハンギングバスケット講習会



ハンギングバスケットの設置



沿道花壇緑化



ベンチ式プランターの設置



ふれあい花壇での作業



庭木管理講習会



三保大上第二公園の花壇整備



沿道での緑化



ホームページの作成

主な取組み実績

助成金額合計:9,309千円

民有地緑化

道路沿いの戸建て住宅を中心に、53か所を緑化

既に出来上がった街並みでは、沿道緑化の適地を選ぶのに苦労しましたが、小規模の花壇造成、統一した規格のプランター・鉢の設置や壁面には壁掛けプランター設置、懸垂植物の植栽などで対応しました。

大上第一公園、大上第二公園には各2か所の公園花壇を設けて、憩いの場としての役割を果たしております。

自治会館周りには、大型のプランターを設置し、バス停にはベンチ式プランターを置いてバスに乗るお客さんに活用頂きます。



3か年の取組みを振り返って

会員となっていない人でも、プランターを道から見える所に出してくれるようなお宅が増え、花を介して「きれいですね」「楽しみにしています」などの会話が増えました。町全体が花に囲まれるようになり、団地の中の雰囲気が変わってきたと思います。「里山ガーデン」の帰りがけに通り、立ち止まって緑化を見てくれる方が増えました。美しくなったこの町を、今後もずっと維持していきたいです。

活動支援

庭木の管理方法、ハンギングバスケットの講習会を開催

世代間交流の場でもあるふれあい花壇の作業には、毎回20~30名の参加を頂き、種から育てた花や野菜を中心に育て、目でみるだけでなく、収穫の喜びを体験できる機会となっております。その作業後に公園花壇の手入れなどもスムーズに取り組むことができました。

自分だけで行うのは難しいとの要望があった庭木管理、バラ剪定、ハンギングバスケット作成をプロの指導による講習会を実施しました。ハンギングバスケットについては会として指導員の資格を取得し、今後の活動に生かせるよう準備しております。

会の活動を周知するため広報誌を発行し、2年目にはホームページを立ち上げ、積極的に情報発信しています。

【問合せ】
横浜市環境創造局みどりアップ推進課
【TEL】045-671-3447
【FAX】045-224-6627
【Mail】ks-ryoka@city.yokohama.jp